

納入先等から環境関連データの提出要請を受けたときの上手な対応方法

- 【日 時】 令和3年9月15日(水) 15時00分～17時00分
【会 場】 (公財)川崎市産業振興財団第三会議室及びZoomオンライン
【講 師】 田脇康広 氏 技術士(環境部門、総合技術監理部門)
【受講料】 無料
【定 員】 30名(申込順)
【対象者】 経営者、管理者、担当者(実務経験の浅い方の参加歓迎)
【申込方法】 FAX または E-mail(裏面参照)
【申込締切】 令和3年9月14日(火)

社会の環境への関心の高まりを背景に、取引先等から、使用するエネルギーの種類や量、再エネ取組、資源循環の取組状況、有害化学物質の不使用補償など多岐にわたる情報提供依頼が届いていると思います。依頼と言いながら断れないのが実態です。

一方、中小事業所の現場では一人の担当者が兼任業務の中でやり繰りしながら苦慮していると思います。しかし、これがまさに SDGs のゴール 12(作る責任、使う責任)で、従来のQCD(品質・コスト・納期)にE(環境)として加わりました。持続可能な社会の構築は社会の要請でもあります。

簡単なことではありませんが、一連の作業は経営体質強化や他社との差別化と同軸です。事例を交えてご紹介します。

【内 容】

1. 取引先からの情報提供依頼の事例を紹介します
エネルギー関連:ISO 認証取得、Scope3、再エネ調達、RE100
資源循環関連:ISO14001 側面調査
有害化学物質関連:RoHS 指令、REACH 規則
調達関連:紛争鉱物、持続可能な原料調達 他
2. 合理的、効率的な対応方法を紹介します
社内での対応に関する仕組みづくりと役割分担、外部情報の活用
依頼先担当者との連携、コミュニケーション 他

講師プロフィール 田脇 康広 氏 技術士（環境部門、総合技術監理部門）



【資格】技術士（環境、総監）、エネルギー管理士、計量士（一般、環境（濃度））、公害防止管理者（大気1種、水質1種他）、ISO14001 審査員補 他

【得意分野】①省エネ ②製品含有化学物質管理（RoHS、REACH）、③環境管理全般（ISO14001）

【自己PR】1981年に松下精工(株)入社。研究開発部門を経て全社の環境責任者。2015年同社定年退職。同年から（一社）低炭素エネルギー技術事業組合にて環境省補助事業の執行代行業務責任者。2020年から田脇技術士事務所として環境関連業務のコンサル。

【申し込み方法】

E-mail または FAX でお申込ください。

納入先等から環境関連データの提出要請を受けたときの上手な対応方法

（9月15日 開催）参加申込書

令和 年 月 日

会場 オンライン（ZOOM） ※会場か ZOOM かどちらか選択して○をつけてください。

ふりがな 企業名		住 所	
役 職		ふり がな 氏 名	
連絡先	電 話		
	E-mail		

※ 必要事項をご記入の上、FAX（044-548-4151）もしくは、同内容をE-mail jinzai@kawasaki-net.ne.jp までお送りください。

※ FAX の場合は、参加申込書を切らずにこのまま送信してください。

※ 受講票は発行いたしません。当日、会場へ直接お越しください。

※ 定員超過によりご参加いただけない場合限りご連絡いたします。



【お申込・お問合せ】

公益財団法人川崎市産業振興財団 担当：永井 Tel. 044-548-4125 Fax. 044-548-4151